

## 協定校留学近況報告書

記 入 日	2014年 12月 8日
留 学 先 大 学	上海交通大学
留 学 先 での 所 属 学 部 等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) <small>※学部等名(日本語):安泰経済管理学部, (現地言語での名称):安泰经济管理学院</small> <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他:学部の授業に加え、中国語互角の授業も履修(交換生は8コマ(45分×8)まで無料)
留 学 期 間	2014年9月ー2015年7月
明 治 大 学 での 所 属	情報コミュニケーション学部情報コミュニケーション学科____専攻 / ____研究科____専攻
学 年 ( 出 発 時 本 学 での 学 年 )	学部3年生 / 研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

上海交通大学は他の大学に比べて入学許可証が届くのが遅かったが(6月頃)、指示されたとおりにビザの申請や寮の申請などをすれば問題ない。時々おおざっぱな指示が届くが、根気強くメールを送ったり人に聞いたりすればできないことは何もない。

### II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類: X1	申請先: 中国大使館(六本木広尾)
ビザ取得所要日数: 1週間弱 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用: 3000円

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか? また、どのように手配しましたか?

- 受け入れ大学先からの
- ①受け入れ許可証(录取通知書)
  - ②外国留学人員来華签证申请表(JW202)
  - ③日中友好病院等専門機関での健康診断結果(外国人体格検査記録)

具体的な申し込み手順を教えてください。

上記3点と大使館で貰える表を記入して、パスポートとともに提出すれば、一週間後取りに来るように言われる。(大使館は確か午前しか空いておらず、夏休み前は混雑する。) 約一週間後 3000円を払って受け取る(並んでいなかったなので10分くらいでもらえた)

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか?

なし

ビザ取得に関して困った点・注意点

半年の留学だったら日本国内での手続きのみで滞在できるが、一年の場合は現地到着後、居留証のようなものを再度申請する必要がある。

### II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

日本で使用していて解約した携帯を持っていけばよかった(レストランや学内などwifiスポットがあればアプリが使える) 出国の際に荷物を送っている人は少ないが、帰国の際は荷物が多くなるので、予め冬物などを送る予定。

## III. 現地到着後のながれ

### 1. 到着時の様子

利用航空会社	中国国際航空・Air China
航空券手配方法	じゃらん

	※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入して下さい。			
大学最寄空港名	浦东国际机场(フライトが多い)/ 虹桥机场(最寄)	現地到着時刻	10:45	
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の 出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 知人の 出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 ( <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	空港から知人宅まで1時間弱、知人宅より闵行キャンパスまで1時間弱			
<b>空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等</b>				
<p>①虹橋空港-徐匯キャンパス(約30分・地下鉄10号線一本、キャンパスまで徒歩約10分)</p> <p>②虹橋空港-闵行キャンパス(約2時間・地下鉄3回乗り換え、下車後タクシーワンメーター12元かバス2元)</p> <p>③浦東空港-徐匯キャンパス(約2時間、地下鉄2号線→10号線)</p> <p>④浦東空港-闵行キャンパス(3,4時間以上、上海の端から端までを地下鉄で移動することになる。)</p> <p>上海の地下鉄はかなり便利で価格は最低3元最高8元(2014年現在)</p> <p>バスは安く(1元か2元)、バス停の名前はほとんど道路名×道路名なので、地図片手に中国語で人に聞きながら行けばたどり着ける(かなりローカル)</p> <p>タクシーの形をしているタクシーを利用すれば、騙されることは少ない(きちんとメーターを付けてもらう)。</p> <p>①、②は100元以内で行けるはずだが、④となると300元くらいかかるかもしれない(上海を横断する距離)</p>				
大学到着日	9月9日11時頃			
<b>2.住居について</b>				
到着後すぐに住居 入居できましたか?	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方: 月 日から入居可能だった。		
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他( )			
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他( )			
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他( )			
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他( )			
住居の申込み手順	出国前に大学から寮申請手続きに関するメールが届く。それに従って(確か7月頃)オンラインで寮のベッドを予約し、前金1000元を払う。お金を払えば寮に住むことはほぼ保証されるが、当日着くまではどのキャンパスのどの寮でどの部屋かは通常わからない。(交換生向けのバディ制度があり、バディに聞いた結果、出国3日前にどの寮に住むのかが判明した。)			
<b>住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか?トラブルはありましたか?</b>				
学校間交換生で前金を払っていれば、住む場所がないことはほとんどない。ただ、2014年秋学期は例年に比べ留学生の数が多く、寮の定員がぎりぎりとなり、環境なども加味して自主的にキャンパス外に住んでいる学生もいた。				
<b>3.留学先でのオリエンテーションについて</b>				
オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった			
日程	①留学生全体向け 9月14日10:30-11:30(参加任意・みんなほぼ参加する) ②安泰経済管理学院留学生向け 9月15日くらい			
参加必須ですか?	<input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 任意参加			
参加費用は?	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額: )			
内容と様子は?	①上海交通大学の紹介、留学同士、現地のbuddyとの交流、ちょっとしたゲーム ②自己紹介、履修登録の説明			
留学生用 特別ガイド	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった			
授業開始日	9月15日から			

#### IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

##### 1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？

一年間の留学は居留証(のようなもの)を申請する必要がある。学校から提示される日付・書類に沿って手続きすれば問題ない。(中国国内滞在の猶予が30日間のビザで入ったため、入国が早すぎると提示日では間に合わず、自分で申請する必要が出てくる。若干長めのビザを始めに取っておくか、入国が早すぎなければ問題ない。9月11日までの指示で9月7日に入国し問題なかった。)

申請か所:上海市出入境管理局(浦東か闵行のどちらか)

持ち物

①パスポート

②交通大から発行してもらう i)外国籍学生办证申请函 ii)外国人签证证件申请表

上記2点申請時に必要な書類

I. パスポート(本体とコピー)

II. 写真4枚(4.5×3.5)

III. 検査費400元~610元(下記⑦があるかないかで検査費が変動する)

IV. 学校到着時に配布される資料(手続きリストのようなもの)

V. 境外人員臨時住宿登記単(原本とコピー)

③証明写真1枚(2寸)

④入寮時にもらう境外人員臨時住宿登記単(原本とコピー)

⑤交通大からの受け入れ許可証(录取通知書)

⑥外国留学人員来華簽證申請表 JW202 表

⑦外国人體格檢查記錄表(日本国内で健康診断をして発行してもらった)

出国前に診断せず、この書類を持ってない人は②を申請する際に学校内で診断していた。検査費約610元

##### 2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

特になし

##### 3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

開設していないが、各種交通券の決済やネット上の買い物をするにはネットバンキングを開設した方が圧倒的に便利。パスポートを持って銀行へ行けばすぐに開設できる模様。

##### 4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

購入していないが、SIMフリー携帯を持参した友人は問題なく使用できており、便利そうだった。

#### V. 履修科目と授業について

##### 1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に( 月 日頃)

オンラインで登録  志願書類に記入して登録  できなかった  その他( )

到着後に(9月15~22日頃)

オンラインで登録  国際オフィス等の仲介  できなかった  その他( )

登録時に留学生として優先されることは

あった

なかった

##### 優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

現地の学生は前学期の期末テスト前後にすでに登録が完了しているため、満員になっている授業もある。留学生は別の登録方法で、満席の授業でもオフィスと確認を取りながら、許可が下りれば履修することができる。

##### 優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00	各種申請手続き		キャンパス移動 (往路)			留学生向けの 各種活動	留学生向けの 各種活動
9:00	授業準備						旅行
10:00	予習復習	語学授業①	本科授業②		語学授業②		友人宅訪問
11:00	短期旅行			キャンパス移動 (往路)			
12:00				本科授業③			
13:00			現地学生と ランチ		語学授業③④		
14:00							
15:00		キャンパス移動 (往路)					
16:00		本科授業①		本科授業④			
17:00							
18:00		キャンパス移動 (帰路)		キャンパス移動 (帰路)			
19:00		寮到着		寮到着			
20:00			図書館				
21:00							
22:00			図書館閉館				
23:00							
24:00							

VII. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

上海で有名な他の大学、復旦大学・上海外国語大学、華東師範大学に比べ日本人の数が少なく(日本人会などはあり、たまにイベントや飲み会が開催される)、本部のキャンパス(Minhan キャンパス)で授業を履修する寮に住んでいるので、現地の学生と多く交流ができ、楽しい日々を送っている。上海交通大学に集まってくる学生はみな優秀で、彼らと一緒に勉強できる。それだけでなく、大都会上海では様々なイベントが開催されており、授業終わりや休日も飽きることなく過ごしている。中国の大学はキャンパス内に授業棟、食堂はもちろん、寮やスーパーもあってまるで街のようで、運動場やプール、図書館も学生が積極的に利用するため、学生としてあるべき姿を経験しているように思う。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

留学という選択をして、その中でも様々な国に行けるチャンスがあると思いますが、中国への留学はこれから必要性が増してくる中国語を学べるだけでなく、学生の勢いや社会の勢いを肌で感じ、刺激の受けられる貴重な機会だと思います。今出会っている友人は一生のつながりになると思うので、どこへ留学に行こうともできるだけ現地の学生と関わっていくという姿勢を持てば、留學生活が楽しめると思います。